

無隣館インターナショナル【江原河畔劇場】

目的 目標

本プログラムは江原河畔劇場をフランチャイズとする劇団青年団が培ってきた人材育成システムを発展させ真に国際的な演劇人を実践的に育成するものである。（兵庫県立）芸術文化観光専門職大学や国内最大級のアーティストインレジデンス施設である城崎国際アートセンターや豊岡演劇祭を有する豊岡市という立地条件を存分に生かし、滞在型制作とオンラインのハイブリッドを活用して、育成と作品制作、実践発表を一体型で行える拠点劇場を目指す。

概要

青年団が東京でフランチャイズとしてきたこまばアゴラ劇場（2024年閉館）は無隣館という私塾を通じて、数多くの岸田戯曲賞作家や国内外に通じる演出家を輩出してきた。
その実務経験を生かし、国際的に活躍する劇作家、演出家、舞台スタッフ、制作者となるための基礎講座を実施する。次に翻訳台本の構成など実際に国際プロジェクトを遂行するための実践を学ぶ。各職種の人間が共に学ぶことで互いの作業を補完しチームで国際舞台に出ていくときの諸問題などについて考察する。また豊岡で開催される豊岡演劇祭に研修生などで参加することで、海外のプロデューサーとの交流を広げるとともに国際演劇祭の運営の仕組みなどについて学ぶ機会も提供する。

3年目までの取組

- 1年目<海外展開の基礎知識を得る>** オンラインによる教養講座（日本と世界の演劇の歴史／アートマネジメント基礎（演劇と観光、まちづくりなどを含む）／劇場論／演劇教育・ワークショップの基礎論／著作権／ハラスメント・コンプライアンス／税制、その他）、合宿研修
- 2年目<海外公演の準備、国内公演の実施>** 豊岡演劇祭での字幕付き上演、海外のプロデューサーとのマッチング、海外のフェスティバルの派遣
- 3年目<海外公演、国内公演の継続>** 豊岡演劇祭での字幕付き上演、海外のプロデューサーとのマッチング、海外のフェスティバルへの参加、海外の大学などでの研修



5年目までの取組

- 4年目<国際共同制作へ>**
海外公演経験者は次のステップとして国際共同制作ないしは海外の劇場、フェスティバルからの委嘱作品の制作を目指して所定の研修を行う。
- 5年目<国際共同制作>**
初期のメンバー全員が、この年までに何らかの形で海外公演を経験する。
- <国際的に活躍できるアーティストの育成制度の恒常化>**
制度の恒常化を目指し、兵庫県立の芸術文化観光専門職大学、城崎国際アートセンターなどと連携し、国際的に活躍できるアーティストを育成するための養成機関を設立する。



会場：江原河畔劇場 ©igaki photo studio／提供：豊岡演劇祭実行委員会
豊岡演劇祭2023 ディレクターズプログラム『KOTATSU』
作・演出：バスカル・ランベール 共同演出・日本語監修：平田オリザ 翻訳：平野曉人

中核となるクリエイターやアドバイザー

平田オリザ 劇作家、演出家、劇団青年団主宰

兵庫県立・芸術文化観光専門職大学学長、豊岡演劇祭フェスティバルディレクター
1995年『東京ノート』岸田國土戯曲賞受賞、以後各賞を受賞。
2000年以降フランス、韓国を中心に多くの海外公演、国際共同公演を行ってきた。
2008年モンブラン国際文化賞、2011年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。



© Tsukasa Aoki

国内公演【計2作品】

- ・豊岡演劇祭における、字幕付き上演（2025年・2026年）ほか

海外公演【1～3名】

- ・2028年度までに、国際共同制作ないしは、海外の劇場・フェスティバルからの委嘱を受ける。

成果目標（見込）

目標値

文化施設の公演活動に対する専門誌・専門家・批評家等による評価数（高評価）	R7 10本 R8 10本以上
海外のプロデューサー、芸術監督とのマッチング数	R7 10回 R8 20回以上
海外からの上演についての問い合わせ	R7 5件 R8 10件
海外における批評掲載	R8 10本以上

育成対象者：10人

劇作家、演出家、制作、ドラマタース、舞台美術、照明、音響などの技術スタッフ
俳優であっても、明確な志望理由があれば応募可能です。

現在プロとして活動中で、現在、あるいは近い将来、国際的な活動を視野に入れている方。

初年度育成対象者 20名程度

2024年11月公募終了
書類選考、面接、合宿研修などを通し段階的に選抜

3年目までの取組

令和6年度

<選抜と初期研修>

書類選考・面接・合宿研修を通して段階的な選抜と初期研修を実施

<海外展開の基礎知識を得る>

海外展開のための基礎講座

日本と世界の演劇の歴史

アートマネジメント基礎

(演劇と観光、まちづくりなどを含む)

演劇教育・ワークショップの基礎論

ハラスメント・コンプライアンス

劇場論、著作権、税制、その他



R6年度 合宿研修

令和7年度

<海外公演の準備、国内公演の実施>

ファンドレイジングなどの基礎知識を含む
海外公演に向けた研修・講座

劇作家は翻訳台本の選定

演出家・製作者は英文企画書の作成を進める。

令和8年度

<海外公演、国内公演の継続>

国際共同作業など、
次のステップに進むための研修の継続



©igaki photo studio / 提供：豊岡演劇祭実行委員会

豊岡演劇祭2024 ディレクターズプログラム『私のかもめ』

作：平田オリザ 演出：ロアン・グッドマン フランス語翻訳：マチュー・カベル

選抜作品の翻訳および字幕作成

9月 豊岡演劇祭

選抜メンバーによる字幕付き上演

9月 豊岡演劇祭

字幕上演のほかに、手話付き上演など
インクルーシブ上演の方法を検証

欧州、アジアの国際演劇祭の視察

海外プロデューサーとのミーティング

国際共同作業など、次のステップに進むための研修
個々のアーティストに合わせた海外の劇場・演劇祭とのマッチング

5年目までの取組

～令和10年度

<国際的に活躍できるアーティストの育成制度の恒常化>

制度の恒常化を目指し、国際的に活躍できるアーティストを育成するための養成機関を設立する。

<国際共同制作>

初期メンバーの全員が、
何らかの形で海外公演を経験する。

国際共同制作または海外の劇場、フェスティバルからの委嘱を受けることを目指す。

連携・協力

地域・外部機関

兵庫県立芸術文化観光専門職大学
豊岡演劇祭実行委員会
劇団「青年団」
有限会社アゴラ企画 (アトリエ春風舎)

国内

劇場

ジュズビリエ国立演劇センター (フランス)
リエージュ劇場 (ベルギー)
斗山アートセンター (韓国)
ジャパソサエティ (アメリカ・ニューヨーク)

教育機関

リヨン国立舞台芸術学校 (フランス)
トリア大学 (ドイツ)
ソウル芸術大学 (韓国)
チュロンゴン大学 (タイ)
ビクトリア大学 (カナダ)

海外